

第139期 中間報告書

(第2四半期累計期間報告)

平成30年4月1日～平成30年9月30日

 **エコナックホールディングス株式会社**
証券コード3521

 **ECONACH HOLDINGS CO.,LTD.**

株主の皆さまへ

エコナックホールディングス株式会社

取締役社長 奥 村 英 夫

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは第139期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の決算を終了いたしましたので、ここにその概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しつつ推移いたしました。しかしながら、賃金の伸びは鈍く個人消費は引き続き低迷しております。

このような状況のもと、当社グループでは主力の温浴事業を柱として経営の効率化を図り、不動産事業及び繊維事業と併せて売上の拡大と利益の確保を目指してまいりました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同四半期に比べ15.4%減少し7億8千2百万円となりました。前年同四半期と比べ減収となった主な要因は、平成29年9月に日本レース株式会社を譲渡したことによる化粧品事業からの撤退であります。営業利益は前年同四半期に比べ57.8%増加し1億1千4百万円、経常利益は前年同四半期に比べ123.3%増加し1億2千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ44.9%増加し1億1千9百万円となり、平成12年の中間連結決算開始以来、第2四半期連結累計期間としては営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも過去最高益となりました。

事業の分野別の概況は次のとおりであります。

<温浴事業>

温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町で事業展開する温浴施設「テルマー湯」が平成30年8月でオープンから3周年を迎えました。当第2四半期連結累計期間における来館者数は、前年同四半期に比べ4.8%増加して15万8千人を数え、順調に伸長しております。当事業におきましては、

タクシー利用や近隣駐車場まで車でお越しのお客様を対象に、次回入館が割引となる「車割」サービスを梅雨の期間限定で実施しておりましたが、ご好評につき期間延長とするほか、新たに学生のお客様向けに「学割」サービスを開始いたしました。また、入館料・岩盤浴・スムージーをお得なセット価格とした「美容プラン」をこれまで女性限定としてご提供してきましたが、装い新たに「ヘルシープラン」として男性のお客様にもご利用いただけるよう設定するなど、各種の企画を通じて集客に努めてまいりました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ3.9%増加し6億6千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ89.0%増加し1億1千7百万円となりました。

<不動産事業>

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有するビルのテナント料及び住居部分の賃料につきまして、継続して安定した収入を得ることができ、売上高は前年同四半期に比べ0.3%増加し9千9百万円となりました。営業利益につきましては、販売用不動産に係る評価損の減少などにより前年同四半期に比べ24.4%増加し6千1百万円となりました。

<繊維事業>

繊維事業では、依然としてレース素材の需要の減少が回復せず、厳しい状況で推移いたしました。そのような中でも、アパレルメーカー向けの秋物受注で引き続き善戦し、また、来年の春夏物の見本依頼が比較的好調でありました。しかしながら、ファッション傾向の変化は容易には戻らずレース素材を中心としたファッションの流れが復調するには至りませんでした。その結果、売上高は前年同四半期に比べ9.9%減少し1千8百万円、営業損失は562千円（前年同四半期は営業利益219千円）となりました。

今後の見通しにつきましては、中長期的には事業の多角化やM&Aを視野に入れ、新たな収入源の確保に努めてまいります。

温浴事業におきましては、お客様のニーズに合った各種イベントを企画するとともに、施設の更なる向上及び運営管理の一層の充実を図り、より多くのお客様にご来館いただく環境づくりに徹することで売上及び利益の拡大に努めてまいります。

不動産事業におきましては、東京都港区西麻布ビルのテナント及び賃貸住宅の安定収入を軸に、所有する販売用不動産の売却や収益不動産の取得に取り組み業績拡大に努めてまいります。

繊維事業におきましては、婦人服業界におけるファッション傾向の推移をみますと、当面はレース素材の大型受注は厳しい状況が続くと予想されます。今後は、販促用の企画提案に力を入れ、昨年不調であったものを改善し、流行の流れに沿った企画提案を目指して引き続き販売促進活動を強化してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

事業分野別売上高明細表（連結）

単位：千円（未満切捨）

期 別 事 業 分 野 別	当第2四半期(累計) (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)		前第2四半期(累計) (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)		増 減		前連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	金額	増減比 (%)	売上高	構成比 (%)
温 浴	665,146	84.9	640,274	69.2	24,871	3.9	1,360,826	72.0
不 動 産	99,268	12.7	98,993	10.7	274	0.3	297,919	15.8
繊 維	18,561	2.4	20,595	2.2	△ 2,034	△ 9.9	64,606	3.4
化粧品 ^(注)	－	－	165,761	17.9	－	－	165,761	8.8
合 計	782,976	100.0	925,625	100.0	△ 142,648	△ 15.4	1,889,113	100.0

(注) 平成29年9月29日付で、連結子会社である日本レース株式会社の保有全株式を譲渡し、化粧品事業から撤退しました。

テルマー湯について

東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する都心最大級のプレミアムスパ『テルマー湯』は、中伊豆から天然温泉を毎日運搬しており、ゆったりとしたスペースで温泉・エステ・食事等をお楽しみいただけます。



テルマー湯

所在地：東京都新宿区歌舞伎町一丁目1番2号

ホームページ：<http://www.thermae-yu.jp/>

アクセス：都営新宿線、東京メトロ丸ノ内線・副都心線

「新宿三丁目」駅E1出口より徒歩約2分



第2四半期連結財務諸表

第2四半期末連結貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

単位：千円（未満切捨）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	716,434	流動負債	321,474
現金及び預金	545,304	買掛金	38,256
受取手形及び売掛金	48,422	1年内返済予定の長期借入金	192,474
商 品	3,863	未払法人税等	820
貯 蔵 品	548	賞与引当金	2,736
販売用不動産	111,233	株主優待引当金	3,557
そ の 他	7,547	未払金	42,862
貸倒引当金	△ 484	そ の 他	40,766
固定資産	4,500,428	固定負債	1,250,905
有形固定資産	4,245,516	長期借入金	940,646
建物及び構築物	2,238,536	資産除去債務	153,041
機械装置及び運搬具	79,683	再評価に係る繰延税金負債	25,970
工具器具及び備品	46,485	繰延税金負債	42,148
土 地	1,880,811	長期預り金	89,099
無形固定資産	91,950	負債合計	1,572,379
借 地 権	83,445	（純資産の部）	
ソフトウェア	6,571	株 主 資 本	3,595,373
電話加入権	1,933	資 本 金	100,000
投資その他の資産	162,962	資 本 剰 余 金	3,347,561
投資有価証券	600	利 益 剰 余 金	150,048
そ の 他	164,570	自 己 株 式	△ 2,235
貸倒引当金	△ 2,208	その他の包括利益累計額	49,109
		土地再評価差額金	49,109
資産合計	5,216,863	純資産合計	3,644,483
		負債・純資産合計	5,216,863

第2四半期累計期間連結損益計算書

(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)

単位：千円（未満切捨）

科 目	金 額	
売 上 高		782,976
売 上 原 価		585,552
売 上 総 利 益		197,423
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		83,236
営 業 利 益		114,187
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2	
支 払 手 数 料 返 還 金	16,005	
未 回 収 利 用 券 受 入 益	1,838	
そ の 他	1,590	19,435
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	10,751	
そ の 他	774	11,525
経 常 利 益		122,097
特 別 損 失		
減 損 損 失	3,964	
固 定 資 産 除 却 損	276	4,240
税金等調整前四半期純利益		117,856
法人税、住民税及び事業税	1,034	
法 人 税 等 調 整 額	△ 2,596	△ 1,561
四 半 期 純 利 益		119,417
親会社株主に帰属する四半期純利益		119,417

第2四半期累計期間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)

単位：千円（未満切捨）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 91,512
現金及び現金同等物の増減額	151,861
現金及び現金同等物の期首残高	393,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	545,304

株式の状況（平成30年9月30日現在）

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	42,728,733株
株主数	4,645名
株主構成	

区 分	株 主 数	株 式 数	株式数比率
個人・その他	4,507名	20,292千株	47.5%
金 融 機 関	18	3,310	7.7
証 券 会 社	34	2,243	5.3
外 国 法 人 等	42	1,103	2.6
その他国内法人	44	15,778	36.9
合 計	4,645名	42,728千株	100.0%

会社概要（平成30年9月30日現在）

社名 (英文社名)	エコナックホールディングス株式会社 (ECONACH HOLDINGS CO., LTD.)	
本店所在地	東京都港区南青山七丁目8番4号	
設立年月日	大正15年（1926年）12月22日	
資本金	100,000,000円	
事業所	本社	〒107-0062 東京都港区南青山七丁目8番4号
ホームページ	http://www.econach.co.jp/	
連結子会社	株式会社テルマー湯 (http://www.thermae-yu.jp/) 〔店舗〕	〒107-0062 東京都港区南青山七丁目8番4号 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町一丁目1番2号
	株式会社エレナ	〒107-0062 東京都港区南青山七丁目8番4号

株主に対する特典

- (1) 対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、当社株式5単元（500株）以上を保有する株主様を対象といたします。
- (2) 優待制度の内容
当社の連結子会社が運営する温浴施設「テルマー湯」でお使いいただけるご優待券を贈呈いたします。枚数は、株主様の保有株式数に応じて以下のとおりとさせていただきます。

保有株式数		優待券封入枚数
①	500株以上2,500株未満	1枚
②	2,500株以上5,000株未満	2枚
③	5,000株以上25,000株未満	3枚
④	25,000株以上	4枚

- ※1. 株主優待券の有効期間は、翌年6月末までとなります。
2. 1枚につき1名様のご招待になります。

役員（平成30年9月30日現在）

代表取締役 取締役社長	奥村英夫
取締役	瀬川信雄
取締役	加藤祐蔵
取締役 (社外取締役)	萩野谷敏裕
取締役 (社外取締役)	田中正和
常勤監査役 (社外監査役)	岩崎周也
監査役 (社外監査役)	小田島章
監査役 (社外監査役)	小林明隆

会計監査人

フロンティア監査法人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各 支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。た だし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に よる公告をすることができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。
上場取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部

住所変更、単元未満株式の買取等のご連絡先について

口座のある証券会社にご連絡ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設された方は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にご連絡ください。

